授 業 概 要（シラバス）

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	MS204	分類	講義科目
授業科目名	ホテル会計	英文授業科目名	Hotel Accounting
年度	2017年度	年次	夜間部ホテル科2年
開講学期	後期	授業の方法	講義
単位数	1	年間授業時間数	22.4時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	後期: 16　合計16コマ
担当教員名	吉冨 泰利 / 石渡 雅浩	備考	

■授業・科目情報

学習目標	ホテルについての基礎理論および応用理論の理解を通じてホテル特有の会計情報の有用性を具体的事例を基に理解してもらう。 財務諸表の意味を理解するとともに，キャッシュフロー計算や原価計算の重要性を理解してもらう。 特に，就職後すぐに必要とする可能性の高い，損益計算書の意義を理解してもらい，原価と売価の関係を考えてもらう。 ホテルについての基礎理論および応用理論の理解を通じてホテル特有の会計情報の有用性を具体的事例を基に理解してもらう。
教科書	『ホテル会計』 財団法人日本ホテル教育センター編（2006年第2版）
年間授業計画	1. ホテル会計の特色と会計情報についての基礎解説 2. 一般的企業との会計処理の違いと会計基準 3. 会計情報の利用区分と意義 4. ホテル形態と基本宿泊料金制度 5. 各エリアの情報と統合 6. 宿泊行為の法的基準と責務 7. 割引制度の類型と差異 8. 昼間料金と宿泊前後の早着・出発延長 9. 各種集計表の対合の必要性と差異 10. 基本料金計算とサービス料収入と計算 11. 稼働率の意義と平均単価、計数管理 12. 宿泊部門会計における収益 13. 極大利益と適正売上の概念。 14. 客席稼働率と内装備品の選択 15. F＆Bコントローラーの業務。メニュー改定と機会原価計算 16. ブッチャーテストと原価計算 17. 売買価格と適正利益・売買価格と適正販売数。 18. 財務データーの経営管理的利用 19. ホテル産業における人件費率と負担影響 20. 企業会計基準と評価額 21. 統一会計制度と日本における会計処理の現状 22. 財務データーの販売戦略利用
授業の進め方	毎回の授業開始時に「本日の授業内容」として，当日の授業項目を紹介し，項目ごとに，授業を進行する。 社会人になる学生に，口頭説明の重要点を判別可能にする為，可能な限り重要事項以外は坂書しない。
試験の実施方法	後期1回のみ 試験期間に設定し、形式は文書・計算試験とする。
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%（10ポイント） ②出席率　＝50%（10ポイント） 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント（合計20ポイント）に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。
関連科目	「ホテルマネジメント（MS201）」
参考書	『基本ホテル経営教本』 鈴木 博/大庭 祺一郎著　柴田書店(2005年) 『Uniform system of accounts for lodging industry, 9th Edition』 Association of New York City,Inc. Hotel Association of New York City,Inc 1996.
学生へのメッセージ	

以 上